

令和5年度 生涯学習課 不祥事ゼロプログラム

生涯学習課は、不祥事の未然防止を目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

ゼロプログラムの実施責任者は生涯学習課長とし、生涯学習課副課長がこれを補佐する。

2 課題、目標及び行動計画

課題	目標	行動計画
①法令遵守意識の向上	勤務時間外でも公務員に期待される高いモラルと責任感を保持	職場研修等で、勤務時間外における綱紀粛正の意識啓発を行う。 職員は「神奈川県職員行動指針」に基づき、公務員として自覚を持った行動を心がける。
②職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	相手の人格を尊重した行動の徹底	職場研修等で、職員相互に相手の人格を尊重した言動に心がけるなど、意識向上を図る。
③個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	重要情報の漏洩、遺失防止のため、適切な情報管理を徹底	職場研修等で、個人情報管理、情報セキュリティについて意識啓発を行う。
④交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規遵守及び交通安全の徹底	職場研修等で、交通安全に対する職員の意識向上を図る。
⑤業務執行体制の確保等	相互チェック体制、業務協力体制の確立	情報共有、複数人での相互チェックの徹底を行い、円滑な業務遂行に努める。
	明るく風通しの良い職場作り	日ごろから職員相互の声かけや上司による目配りを欠かさないようにする。

課題	目標	行動計画
⑥財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行	関係規程や通知に基づいた適正な経理執行や業務執行を行うとともに、進行管理、執行管理について、複数人での相互チェックの徹底と、会計事務の基本的な事項について職場研修を実施する。
	県会計以外の財務事務等の適正執行	事務局を担っている団体の経理執行について、複数人での相互チェックを徹底し、団体の規定に則った適正な経理執行や業務執行を行うとともに、会計帳簿等の確認を行う。

3 検証

(1) 中間検証

プログラム達成度の中間検証を行い、年度内に目標を達成できるよう本プログラムの進行管理を徹底する。

(2) 検証

プログラム達成度の検証を行い、行動計画について、最終的な実施状況を確認するとともに、各目標達成について評価を実施する。